

第13回ASEM首脳会合：リトリート・セッション 総理ステートメント

フン・セン首相、ご列席の皆様。我が国は、我々の共通利益である「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、各国と連携して取り組んでまいります。力や威圧に頼らず、共通のルールに則り、対話と協力に基づいて、国家間の問題を解決することが重要です。

また、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、この地域の連結性強化にも取り組んでまいります。これを進める上で、開放性、透明性、ライフサイクルコストを考慮した経済性、債務持続可能性、環境への配慮といった国際的な原則に則った質の高いインフラ投資の実施が重要です。

我が国は、EUとの「連結性パートナーシップ」の下で、地域の連結性の強化を推進しています。また、「日ASEAN連結性イニシアティブ」を前進させ、ASEANとも協力して、質の高いインフラ整備や人材育成に取り組んでいます。

こうした取組を通じて、我が国は、ルールに基づく連結性の強化に、引き続き積極的な役割を果たしてまいります。

続いて、地域情勢について簡潔に触れたいと思います。

北朝鮮による核・ミサイル活動は、日本、地域、国際社会の平和と安全を脅かすものであり、強く懸念します。拉致問題を含む北朝鮮への対応について、ASEM参加国と連携していきます。

次に、東シナ海や南シナ海では、一方的な現状変更の試みや緊張を高める活動がエスカレートしています。法の支配に逆行する動きも見られ、これらに強く反対します。

香港情勢及び新疆の人権状況も強く懸念しています。

ミャンマーについては、ASEAN特使が速やかにミャンマーを訪問できるよう、ミャンマーの建設的な対応を求めます。我が国は、引き続きASEANの努力を後押しするとともに、人道支援も積極的に行っていきます。

国際社会の不確実性が増大する中、アジアと欧州をつなぐASEMの協力は一層重要となっています。我が国は、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化するため、ASEMを含む国際社会と、今後も緊密に連携していく決意です。ありがとうございました。

(了)